

# 令和2年度 島田市公共下水道事業会計 決算概要

前年度と比較して、水洗化人口は55人、水洗化率は0.2ポイント、年間有収汚水量は19千 $\text{m}^3$ の増となり、下水道使用料は140,031千円となりました。また、一般会計からの補助金が415,819千円となり、経常収益は691,396千円となりました。経常費用は、減価償却費、委託料、企業債利息などにより652,220千円となり、年間利益は41,169千円となりました。

## 1 業務量

	令和2年度(A)	令和元年度(A)	(A)－(B)
供用開始区域面積(ha)	232.15	228.70	3.45
供用開始区域内人口(人)	11,541	11,500	41
水洗化人口(人)	9,060	9,005	55
水洗化率(%)	78.5	78.3	0.2
年間流入汚水量(千 $\text{m}^3$ )	1,097	1,101	$\Delta$ 4
年間有収汚水量(千 $\text{m}^3$ )	1,105	1,086	19

## 2 損益計算書(収益的収支)

(千円)

	令和2年度(A)	令和元年度(B)	(A)－(B)
営業収益	156,784	-	156,784
うち下水道使用料	140,031	-	140,031
営業外収益	534,612	-	534,612
うち補助金(一般会計)	415,819	-	415,819
うち長期前受金戻入	117,657	-	117,657
経常収益 計 ①	691,396	-	691,396
営業費用	582,124	-	582,124
うち減価償却費	328,891	-	328,891
営業外費用	70,096	-	70,096
経常費用 計 ②	652,220	-	652,220
経常利益 ①-②=③	39,176	-	39,176
特別利益 ④	1,993	-	1,993
当期利益 ③+④	41,169	-	41,169
年間利益	41,169	-	41,169

## 3 貸借対照表

(千円)

	令和2年度(A)	令和元年度(B)	(A)－(B)
資産	10,804,137	-	10,794,137
固定資産	10,587,370	-	10,577,370
流動資産	216,767	-	216,767
負債	7,412,225	-	7,402,226
固定負債	3,073,307	-	3,073,307
流動負債	549,154	-	549,154
繰延収益	3,789,764	-	3,779,765
資本	3,391,912	-	3,391,912
資本金	3,206,309	-	3,206,309
資本剰余金	144,434	-	144,434
利益剰余金	41,169	-	41,169
負債+資本 計	10,804,137	-	10,804,137

#### 4 キャッシュフロー計算書 (千円)

	令和2年度
業務活動CF	241,068
投資活動CF	△ 57,272
財務活動CF	△ 36,866
資金増減	146,930
期首資金残高	23,610
期末資金残高	170,540

業務活動CFはプラスになっていますが、その内容は減価償却費や引当金などで現金の動きを伴ったものではありません。投資活動CFは計画地域の拡張を受け、マイナスとなっています。財務活動CFはプラスですが、主に起債によるものです。そのため、起債対象となる工事の量の適正化を今後も継続するとともに、起債残が過大とならないよう注意が必要です。

#### 5 資本的収支 (千円)

	令和2年度
資本的支出 ①	676,876
資本的収入 ②	455,595
うち、起債借入	184,400
収入－支出 ②－①	△ 221,281

資本的収支は、建設工事の支払いとそれに伴う起債の借入れ、その返済を行っている会計です。支払いに必要な財源は、受益者負担金や補助金等の4条収入、収益的収支(損益計算書)で現金支出がなかった経費(減価償却費等)分の現金などとなり、不足分は起債の借り入れを行います。

